

## は じ め に

近年子どもを取り巻く社会が急激に変化していることにより、これまでの価値観が揺らぎ多様化し、倫理観や社会的使命感の喪失、社会全体を覆う閉鎖感などが広がっている中、子どもをはじめ、大人達も夢や目標を持ちにくくなってきている。このような時だからこそ我々教師は子どもの可能性を信じ、子どもの夢を育み、それを実現させるための支援をし続けることが究極の使命であると考えます。

17年度山口県学力調査が実施されその結果を吟味すると基礎・基本に関することは概ね良しという評価をくださることができたことは、これまでの本校の取組の成果と考えられる。しかし、思考力における項目については十分力が育っていないことが判明した。そこで、18年度より思考力を高めるための取組みを、実施することとし、授業研究を中心として課題解明に向けて努力してきた。それなりの成果は上がったもののまだ不十分なところがあると判断し、19年度も引き続き取り組むこととした。また、子どもへのアンケートにより現状把握をした上で授業に取り組む。その後、子どもによる授業評価を適宜行い、次の授業の改善に取り組むことにした。

授業の事前の検討、事後の反省・協議を全教員で行うものは低・中・高学年からそれぞれ1授業提供してもらおう。また、授業公開はすべての教員が1回はするという共通理解のもと研修を実施してきた。

日々の多忙極まる学校生活の中で、全教員が「確かな思考力を育てる指導のあり方」はどうあるべきかを合い言葉に、「各学年段階に応じた思考力を系統的に明らかにする」ことに視点を置いて、全勢力をつぎ込んで計画的に実施してきた。それぞれの教員の特色が出た授業の展開に、他の教員に参考になったことが多々あったのは当然であるが、それにも増して協議の時間には全教員が活発に発言をし、多様な考え方にそれぞれが接し、盛り上がった研修の場が実現したことは大きな成果と言える。

日々の暮らしの中でも、思考力を高める接し方に心掛け、よりよく効果のあがる授業の実現に向けて、さらなる努力を継続していきたい。その結果として、基礎基本をベースとして思考力の高まった活力ある子どもの育成に邁進したい。

研究を進める中で、適切な御指導・御助言をいただいた岩国市教育委員会の先生方に心より感謝申し上げます。

20年3月

校長 森川利春